

角元正燦

—書は自画像である

2024年2月16日(金)～3月24日(日)



「武骨」57歳 第36回日展(当館蔵)

会場 1階 特別展示室・ギャラリー
3階 書道美術常設展示室

開館時間 9:30～17:00

休館日 月曜日

観覧料 一般520円(410円)／高校・大学生360円(290円)
小・中学生260円(200円) ()内は20人以上の団体
割引料金。小・中・高校生は土・日・祝日・春休み
期間中は無料。高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳
をお持ちの方は半額

主催 徳島県立文学書道館

後援 徳島県教育委員会 徳島新聞社 四国放送

関連イベント ◆ 講演会「書をふりかえる」

2月18日(日)

14:00～15:30

講師／角元正燦(書家、日展特別会員)

定員／100人(申込多数の場合は抽選)

◆ 展示解説

3月3日(日)、同20日(水・祝)

11:00～11:30

講師／立石充(当館学芸員)

申込不要、観覧券必要



現代書壇の第一線で活躍している徳島県阿南市出身の書家・角元正燦(1947年-)。“作品は自身がさらけ出されてしまう自画像”との考えのもと、師の青山杉雨が確立した書のモダニズムの継承者として独自の書風を作り上げてきました。

本展では、日展や成田山書道美術館、当館の所蔵作品をはじめ、地元・阿南市の夢ホール(阿南市文化会館)の緞帳にも使われ、県民に親しまれている「夢場」などを展示します。20代の頃の作品から、2023年1月の現代書道二十人展に出品された近作まで46点を一堂に集め、氏の書道人生をたどります。



「王士禛詩 秦淮雜詩六首其一」72歳 第6回日展(作家蔵)

「夢場」52歳(阿南市蔵)



「曹子建詩」75歳第9回日展(作家蔵)



かくもと せいさん
角元 正燦

1947年、阿南市生まれ。本名・正三。大学在学中に加藤玉淵に師事したのち、青山杉雨に師事。92年、94年に日展特選。2010年、個展開催(文藝春秋画廊)、11年、第56回現代書道二十人展出品(～現在)。現在、日展特別会員、謹慎書道会副理事長、読売書法会常任理事、轟友会理事長、全国書美術振興会理事。

◆講演会の申込方法

はがき、FAX、メールのいずれかに「角元正燦講演会」と明記の上、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記入し、当館までお申し込みください。当館1階受付でも申し込みます。

交通アクセス (JR 徳島駅から)

◆徒歩 約15分

JR 徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つ目の信号交差点を右折して約300m。徳島中学校東隣。

◆バス

〔徳島市営バス〕7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗車。

〔吉野本町2丁目〕バス停下車、徒歩約5分。

〔徳島バス〕15番乗り場「前川経由」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩約5分。

◆タクシー・自動車 約5分

国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つ目の信号を右折して約300m。

◆駐車場 当館北側にあります(43台、大型バス2台)

※3月24日(日)午後2時から3時まで、1階ロビーで「ことのはロビーコンサート」(事前申込制)を開催します。ご了承ください

